



### ふたたび繰り返し返さない 手良地区戦没者追悼式

手良地区戦没者追悼式は10月17日に、「老人憩いの家手良荘」の招魂碑前で行われました。

手良地区の戦没者は日清戦争から太平洋戦争までの戦いの中で126柱。女性の名前も2、3見えますが従軍看護婦でしょうか。遺族は89名ですが、当日は12名が参加されました。

式の追悼の辞では来賓の伊那市社会福祉協議会長、伊那市遺族会長よりそれぞれ戦後68年目を迎え戦争の悲惨さ、愚かさをふたたび繰り返してはならないとあいさつがありました。



戦没者追悼式

法話では清水寺住職から憲法改正などがいわれ、消費税増税や少子高齢化を迎える現在、平和とは安全とは何かを考える機会にされたいと話がありました。

中坪久保にある宅老所「おおにし」の創立10周年記念の会が10月26日の午後中坪公民館で行われ施設利用しました。

### 10周年記念の会 宅老所おおにし

川ひろみ後援会のマレットゴルフ大会が榛原河川敷公園で約30名が参加して行われました。昨夜からの雨を心配しましたが、曇っていて少し涼しくらいのマレット日和でした。

なごやかに熱戦が行われ、会場を上新田公民館に移して入賞者の表彰を行い、豚汁を食べながら自己紹介、柳川議員に対する質問などで懇談しました。

11月4日の休日の午前中、手良からも参加して柳

### にぎやかに楽しく 柳川ひろみ後援会 マレットゴルフ大会

### 生活雑記 116 戦争体験 その2

小松利江

時間の流れとともに記憶はどんどん薄らいで消滅してしまいうちでも悲喜こもこも特別なことだけは鮮明によみがえってくる。戦争という意味など判らない幼い子ども心を恐怖という凄まじい嵐のような空気が吹き荒れて不安だらけの生活が続いていたことを思い出す。

山間の狭い空間をぬつよつに凄まじい爆音をたてて、通り過ぎる飛行機を耳をふさいで眺めていると隠れると怒られたり、白い洋服は着

るな、目立つと爆撃されるからと学校の先生からも注意され白い着物は黒い色に染めた事もあった。

その頃、飯田線は貨物輸送しか手立てがないので、平岡のダム工事の建設資材は駅のホームに山のように積み重ねられて、大勢の捕虜の手によって運ばれていた。

監督らしき日本人が怒鳴る声が聞こえたり、捨てた煙草の吸殻を拾おうとした捕虜の手をギョウギウウと踏みつけていたりして恐ろしかったことを覚えている。軍隊の厳しさに耐えられず逃げ出した兵隊を実家に立ち寄るからという情報の流れ村中で山狩りをしたこともあった。母親の姉一家は日の丸の旗を持った大勢

の人に送られて満州に立つ日、満員の電車に乗って消えて行った不思議な情景は頭の片隅にすかさず残っている。この人達は帰ってくることはなかった。

父は生後半年の子どもと長男、長女、両親、兄弟の大家族を残して昭和12年8月22日に松本歩兵50連隊という所へ入隊し半年後北支で負傷、名古屋の病院で軍隊生活の様子を日記にしたのが残っていたことになる。来月は乗船して日本を離れる様子を書いてみたいと思う。



用者や地元住民、関係者など約40人が参加しました。

会場には地元の栽培者からの菊の花が飾られていました。宅老所「おおにし」は2004年1月に開設し現在職員15名、通所介護、在宅生活支援、送迎サービスなど近々の方が利用しています。

記念の会のオープニングは手良太鼓で始まり理事長、家族代表、地区代表のそれぞれのあいさつの後「笑いの療法士」城取茂美さんにより童謡唱歌などを歌い、冗談を飛ばす愉快な講演があり10年目の節目を祝いました。

あいさつでは倉田節子理事長より、皆さんがこの地に「おおにし」を受け入れてくれ、開設できたことに感謝の



おおにし10周年の会

### 手良公民館主催の 今年最後の野草教室

今年最後の野草教室は10月18日に「深み行く霧が峰の秋を訪ねて」と銘打って行われました。参加者は登録会員35名のうち30名がマイクロバスと乗用車の2台で高遠、茅野を通って霧が峰に行きました。

講師の柄山祐希先生は何時ものように元気に草木などを説明してくれました。しかし、残念ながら八島ヶ原湿原はシーズンオフで枯れ野原でした。



野草教室

### 保育園で紙芝居上演 中坪の歩み研究委員会

「中坪の歴史を掘り起こし、まとめ、それを将来に引き継いでゆく」ことを目的としている「中坪の歩み研究委員会」は手良保育園の要望により今年も10月30日に保育園で当研究委員会が制作した紙芝居を上演しました。

研究委員2名が拍子木を鳴らして、今から約200年前の江戸時代に当時の横綱にあたる「雷電」が中坪村にやってきた「中坪村に雷電が」と、中坪にある清水庵の由来について観音様が夢の中で語る「清水庵物語 観音夢語り」の2本を上演しました。

子どもたちは一生懸命に観ていました。園長先生は「子どもたちが小さい時から地域のことに関心を持つことは大事なことで、内容は難しくても子どもなりに理解している」と語っていました。

園の手配により伊那ケイブルテレビが取材に来て放映されました。

### 二重平へ 介護施設がやってくる

手良野口の二重平地籍に上伊那医療生協の施設が建てられるという噂が流れまわりました。不審に思い調べてみました。

高遠藤沢にある「宅老所ふじさわ」が定員6、9人の短期入所生活介護の宿泊施設を建てる計画をすすめているとのことでした。その場所は仙丈岳がきれいに見え、平屋建てで来年から設計に入るようです。(丁)

### 中坪公民館で絵手紙教室やっています

連絡先 高橋 七八〇九四三



酒井要子



保育園で紙芝

### 手良支部でも五平餅完売 医療生協健康まつり

上伊那医療生協の健康まつりは10月6日に飯島町「コスモ21」跡地で行われ、晴天にも恵まれ上伊那各地から1500名が参加し賑わいました。「コスモ21」の空き店舗は飯島町の協力を得て飯島診療所の移転新築、「生協総合ケアセンター」の新しいイメージとして計画され、今年の上伊那医療生協統一の健康祭りとして行われました。手良支部でも五平餅を出店し1000食を完売しました。



五平餅出店

(おねがい)

身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思っております。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。

七八〇九四三 高橋